

■インドネシア：石油資源が23年で枯渇

Darwin Zahedy Saleh エネルギー鉱物資源相は2011年4月14日、インドネシアの石油は23年間で枯渇すると発表した。同相によると、化石燃料の埋蔵量を調査した結果、現在の生産量を維持した場合、石油が23年、天然ガスが63年、石炭が77年で枯渇するとのことである。同相は「化石燃料の使用量が増加すると枯渇する期間が短くなる。このため、商業エネルギーの有効利用と再生可能エネルギーの利用を促進する」と語った。2010年における商業エネルギーの供給量の割合は、石油54.4%、天然ガス26.5%、石炭14.1%と、化石燃料が約95%を占めている。政府は2025年までに再生可能エネルギーの比率（商業エネルギー消費に占める比率）を現在の5%から25%に引き上げる方針を示している。